**H30　横浜発「みんなにやさしい介護のプロを目指す」プロジェクト　エントリーシート**

**※回答日時点の内容で回答してください。**

**Ⅰ　事業所基本情報**

　Ⅰ-①　事業所番号【記入】

　Ⅰ-②　事業所名【記入】

　Ⅰ-③　回答者氏名【記入】

　Ⅰ-④　回答者連絡先（電話番号）【記入】

　Ⅰ-⑤　回答者連絡先（Eメールアドレス）【記入】

　Ⅰ-⑥　人員基準に適合している事業所ですか。（１つのみ選択）

[ ] 適合している

[ ] 適合していない

　Ⅰ-⑦　設備基準に適合している事業所ですか。（１つのみ選択）

[ ] 適合している

[ ] 適合していない

Ⅰ-⑧　運営基準に適合している事業所ですか。（１つのみ選択）

[ ] 適合している

[ ] 適合していない

**Ⅱ　能力を適切に発揮できる自立支援について**

　Ⅱ-①　排泄介助に際し、自立支援を意識して実践できていますか？ （１つのみ選択）

定時でのトイレ誘導や、羞恥心に配慮しない大きな声で声掛けをすることで、排泄の失敗が多くなってしまった利用者はいませんか。自立支援には、利用者の気持ちに配慮した適切な介助が大切です。

また、便座が高すぎて足が床につかないため、力が入らず排泄がうまくできない利用者はいませんか。環境面での配慮も自立支援には必要です。

[ ] 自立支援を意識して実践できている

⇒【内容を具体的に記入】

[ ] 自立支援を意識して実践できていなかった

　Ⅱ-②　食事介助に際し、自立支援を意識して実践できていますか？（１つのみ選択）

　　　　　　食事の提供をしていない場合は、在宅での食事の自立支援を意識して実践できていますか？

単にできないからといって、摂取介助やきざみ食を提供するのではなく、自立で食事摂取ができるような支援が行えないか、利用者の状態を見極めることが大切です。

例えば、円背の利用者が深く椅子に座ってしまうと嚥下しにくい姿勢になってしまうことがあります。クッション等を利用し、食道を確保する座位姿勢を保つことで自立摂取できるようになった例もあります。

[ ] 自立支援を意識して実践できている

⇒【内容を具体的に記入】

[ ] 自立支援を意識して実践できていなかった

　Ⅱ-③　入浴介助に際し、自立支援を意識して実践できていますか？（１つのみ選択）

　　　　　　入浴サービスを提供していない場合は、在宅での入浴の自立支援を意識して実践できていますか？

　　　　　　「危険だから」「時間がかかるから」ということで、利用者ができることも介助してしまうことはありませんか。

過剰な介助をしたことで、家で入浴できなくなってしまう例もあります。これは自立支援ではありません。

[ ] 自立支援を意識して実践できている

⇒【内容を具体的に記入】

[ ] 自立支援を意識して実践できていなかった

　Ⅱ-④　利用者が、自由に事業所内を移動できるような関わりをしていますか？ （１つのみ選択）

　　　　　危ないからといって、常に、支えたり車イスでの介助を行うことで、自宅でも自立歩行ができなくなってしまう例が

あります。歩行時にバランスがとれているか、靴のサイズが合っているかなど、歩行の状態を適宜確認することも

重要です。

[ ] 自立支援を意識した関わりをしている

⇒【内容を具体的に記入】

[ ] 自立支援を意識した関わりができていなかった

　Ⅱ-⑤　車イスの利用者（自走のできない方）は、移動時以外は椅子に座っていただいていますか？（１つのみ選択）

　　　　　ずっと車イスに座っていると、足がむくんでしまったり、血栓ができやすくなり脳梗塞の原因になることもあります。

[ ] 椅子に座っていただいている

[ ] 常時、車イスに座っていただいていた

　Ⅱ-⑥　脳梗塞の後遺症がある方等への自立支援は病態に応じたアプローチを行わないと、過用・誤用症候群(※)を引き起こしてしまう場合があることを知っていますか？（１つのみ選択）

　　　　　　※「過用・誤用症候群」とは、過剰な努力や運動、間違った技術・機能訓練（機能の使い方）・福祉用具の使い方等によって状態を悪化させてしまうことです。生活動作内で起こってしまっていることも多くあります。

[ ] 過用・誤用症候群のことは理解している

[ ] 過用・誤用症候群という言葉は聞いたことがあるが理解はしていなかった又は初めて知った

　Ⅱ-⑦　全介助の利用者に対しても、自立支援を意識してサービス提供していますか？（１つのみ選択）

　　　　　寝たきりの利用者の場合も、自発呼吸が楽にできるよう適切な体位を保持するなどの自立支援が可能です。

[ ] 自立支援を意識してサービス提供している

⇒【内容を具体的に記入】

[ ] 自立支援を意識していなかった

　Ⅱ-⑧　生活動作でご利用者にやっていただくよう支援していることはどれですか？（複数選択可）

[ ] サービス利用時に持ってこられた荷物の片付け（必要物品を出したり、ロッカーへしまう等）

[ ] 食事の配膳・下膳

[ ] 食器などの洗い物

[ ] 食器などの片付け

[ ] 洗濯物たたみ

[ ] 洗濯物干し

[ ] テーブル拭き

[ ] 使用物品の用意・片づけ

[ ] 床などの清掃

[ ] 帰りの準備

[ ] その他【具体的に記入】

　Ⅱ-⑨　利用者の中で、介護度の改善や自宅での生活に良い影響が出た方はいますか？（１つのみ選択）

　　　　　日中のデイサービスでの過ごし方は自宅での生活にも影響します。ストレスや不快が蓄積されるとその後の生

　　　　　活にも悪影響が出てしまいます。サービス提供時間中に適切な関わりをすることで、不穏な行動がなくなり自

　　　　　宅での生活も落ち着く場合があります。

[ ] はい【具体的な事例を３事例まで挙げてください】

　　＊最重度時の介護度、年齢、性別、事業所が行った具体的な自立支援の内容とその結果を記入。

　　【１事例目】

　　【２事例目】

　　【３事例目】

[ ] いいえ

　Ⅱ-⑩　介護度改善や状態の改善によりデイサービスを卒業された方（または卒業予定の方）はいますか？（１つのみ選択）

[ ] はい【具体的な事例を３事例まで挙げてください】

　　＊最重度時の介護度、年齢、性別、事業所が行った具体的な自立支援の内容とその結果を記入。

　　【１事例目】

　　【２事例目】

　　【３事例目】

[ ] いいえ

**Ⅲ　サービス提供時間の活動について**

　Ⅲ-①　事業所が提供しているプログラムを教えてください。

　　　　　【具体的に記入】

Ⅲ-②　サービス提供時間中の活動は、利用者が選択できるよう支援していますか。（１つのみ選択）

[ ] 選択できる（利用者が決めている）

[ ] 選択できない（事業所が決めている）

Ⅲ-③　前問（Ⅲ-①）のプログラムを実施するにあたり、気を付けていること、配慮していることがあれば具体的に記入してください。

　　　　例えば、漢字ドリルを行う場合でも、漢字ドリルを希望する利用者に本屋で自らドリルを選んでいただき、意

欲的に取り組めるようにする等して、自立支援のためのプログラムとすることが重要です。

　　　　　【具体的に記入】

　Ⅲ-④　自立支援は、利用者の「生活の営み」を支援できているか（生活に支障をきたしてきたことをできるようにするケアが行えているか）が重要です。貴事業所で提供しているプログラムは、利用者の「生活の営み」の支援になっていますか？（１つのみ選択）

[ ] 「生活の営み」を支援している

⇒【利用者の生活のどの部分の営みを、どのように支援しているのか具体的に記入してください】

[ ] 「生活の営み」を支援できていない

**Ⅳ　地域密着型通所介護計画について**

Ⅳ-①　利用者のアセスメントは、氏名や要介護度等の書類上で確認できる情報だけでなく、利用者本人が望む本人の状態に応じた自己実現のため、潜在している能力や生きがいなども合わせて記載することでより適切なアセスメントを行うことができると考えられます。自事業所の強み・特徴を活かした独自の項目がありますか。（１つのみ選択）

[ ] はい　【具体的に記入】

[ ] いいえ

Ⅳ-②　地域密着型通所介護計画の目標設定は、10人いれば10通りの目標があると考えられます。目標は利用者本人にとって真に必要なものになっていますか。（１つのみ選択）

[ ] 個々の利用者に対応した適切な目標が設定できている。

[ ] 個々の利用者に対応した適切な目標の設定ができていない。

Ⅳ-③　計画書の内容が画一的な内容（「食事・入浴・他者交流・脳トレ・安全な○○」等）ではなく、具合的に立案され、かつアセスメントに基づく自己実現に向けた「自立支援」の計画書となっていますか？（１つのみ選択）

[ ] はい

[ ] いいえ

Ⅳ-④　利用者の自己実現を達成したことはありますか？（１つのみ選択）

[ ] はい【具体的な事例を３事例まで挙げてください】

　　＊最重度時の介護度、年齢、性別、事業所が行った具体的な自立支援の内容とその結果を記入。

　　【１事例目】

　　【２事例目】

　　【３事例目】

[ ] いいえ

Ⅳ-⑤　作成した地域密着型通所介護計画の実施状況について定期的にモニタリングを行い、必要に応じて計画の見直しを行っていますか。（１つのみ選択）

[ ] 計画の見直しを行っている

[ ] 計画の見直しができていなかった

**Ⅴ　利用者・利用者家族・地域とのコミュニケーションを図る取組みについて**

　Ⅴ-①　利用者家族との情報共有の方法で、該当するものを１つ選択してください。（１つのみ選択）

[ ] 連絡帳等に実施した機能訓練の内容や本人の様子などを細かく記載したり、送迎時、家族に直接報告をするなど、積極的に情報共有を図っている

[ ] 健康状態（体温、血圧等）と「特変なくすごされました」のようにほぼ定型的な内容の情報共有となっていた

　Ⅴ-②　利用者や家族から「感謝の手紙」をいただいたことがありますか？ （１つのみ選択）

[ ] ある

⇒【内容を具体的に記入（最重度の時の介護度・年齢・性別と具体的な内容を記入）】

[ ] ない

　Ⅴ-③　貴事業所のサービス内容は、次のどれに該当すると考えますか？（１つのみ選択）

[ ] 自己実現に向けた自立支援のケア

[ ] 利用者の引きこもり防止や家族のレスパイトに重点をおいたサービス内容となっている

[ ] その他【具体的に記入】

　Ⅴ-④　事業所は家族や地域住民などが訪ねてきやすい雰囲気ですか？（１つのみ選択）

[ ] 訪ねてきやすい雰囲気である

[ ] 訪ねてきやすい雰囲気ではない

　Ⅴ-⑤　居心地の良い居場所づくりで工夫していることがあれば具体的に記載してください。

　　　　　　【具体的に記入】

　Ⅴ-⑥　利用者や家族に対し、適切な関り（ケア）のアドバイスを行っているものはありますか？（複数選択可）

[ ] 現在の認知症の症状について

[ ]  BPSDの改善方法

[ ] 口腔ケア

[ ] 医療的な内容

[ ] 介護技術

[ ] 主治医との連絡

[ ] その他【具体的に記入】

[ ] 特にない

**Ⅵ　職員のスキルアップや定着への取組みについて**

　Ⅵ-①　法人と事業所の理念の概要を教えてください

【法人理念概要を記入】【事業所理念の概要を記入】

　Ⅵ-②　法人と事業所の理念は職員が理解し実践できていますか？（１つのみ選択）

[ ] 全員が理解し実践できている

[ ] あまり実践できていない

　Ⅵ-③　職員が「やりがい」と感じていることはありますか？（１つのみ選択）

[ ] ある【具体的に記入】

[ ] ない

　Ⅵ-④　日ごろからスタッフが思っていること、考えていることを引き出しながら、生き生きと主体的に活動できるように工夫していることはありますか？（１つのみ選択）

[ ] ある【方法を具体的に記入】

[ ] ない

　Ⅵ-⑤　適切な自立支援のケアを行うためには利用者一人ひとりの病気や障害等の特性を把握し、これらの正しい知識や根拠ある介護技術が必要です。最新の知識を習得するために、職員が参加している研修・セミナーで該当するものを選んでください。（複数選択可）

[ ]  D-net.横浜（事業所連絡会）開催のレベルアップセミナー

[ ] 横浜市主催の質の向上セミナー（従事者向けセミナー、オープンセミナー）

[ ] 認知症に関する研修【具体的な研修名・内容を記入】

[ ] 介護技術に関する研修

[ ] 法人または事業所でおこなっている研修【具体的な研修名・内容を記入】

[ ] その他【具体的な研修名・内容を記入】

[ ] 参加できていない

　Ⅵ-⑥　職員の定着率向上のためにしていることはありますか？（複数選択可）

[ ] 休暇を取得しやすい体制づくり

[ ] 賞与

[ ] 研修に参加しやすい体制づくり

[ ] 福利厚生の充実

[ ] その他【自由記載】

[ ] 工夫していることはない

　Ⅵ-⑦　職員の定着は平均何年くらいですか？

約【　　　】年

　Ⅵ-⑧　貴事業所の離職理由で一番多い理由は何ですか？

【記入】

　Ⅵ-⑨　職員の募集方法を教えてください

【記入】

**Ⅶ　その他**

　Ⅶ-①　横浜発「みんなにやさしい介護のプロを目指す」プロジェクトに参加し、「みんなにやさしい介護」の好循環をつくりだすため、さらに自立支援への取組を推進する意欲はありますか。（１つのみ選択）

[ ] はい

[ ] いいえ

　Ⅶ-②　自立支援の優れた取り組みを広めるため、市職員または他事業所職員等が貴事業所のサービス提供を見学させていただく場合もありますが、見学の受入れは可能ですか。（１つのみ選択）

[ ] はい

[ ] いいえ

　Ⅶ-③　D-net.横浜※１（事業所連絡会）に加入していますか。（１つのみ選択）

[ ] 加入している

[ ] 加入していないが、これから加入してスキルアップを目指したい

[ ] 加入する予定はない

　　　※１　D-net.横浜とは、NPO法人横浜市地域密着型通所介護事業所連絡会のことで、横浜市内の地域密着型通所介護事業所の皆様が会員となっている団体です。横浜市健康福祉局とともに質の向上を目指し研修の開催や独自で各種セミナーを開催しています。また、事業所同士の横のつながりを作り、地域の中でそれぞれの特色を活かしたサービスを互いに把握しながら利用者の多様なニーズに合わせたケアの提供ができることを目指します。

　Ⅶ-④　自事業所の自立支援の取組、特徴、PRなど、これまでの設問で十分に回答できなかったものがあれば自由に記載してください。

【記入】

Ⅶ-⑤　よい取組を他事業所にも広めるため、事例発表の開催を検討しています。御協力をお願いした場合、事例発表をしていただけますか。（１つのみ選択）

[ ] はい

[ ] いいえ